

## 工事説明書 ライン型給気グリル

品番 FY-GSC041

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。  
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。  
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。  
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

### 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

<b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	<b>注意</b> 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---------------------------------	--

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。
--------------	------------------

<b>警告</b>	
分解禁止	仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因になります。
ぬれ手禁止	スイッチや分電盤のブレーカーをぬれ手で切/入しない 感電のおそれがあります。
	お手入れの際は、スイッチと分電盤のブレーカーを切る 感電やけがをすることがあります。

<b>注意</b>	
禁止	炎があたるおそれのある場所には取り付けない プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。
	取り付けの際は必ず手袋を使用する けがの原因になります。
	本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをすることがあります。
	部品は確実に取り付ける 落下により、けがをすることがあります。
	本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをすることがあります。
	お手入れの際は、ゴム手袋を使用する 板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

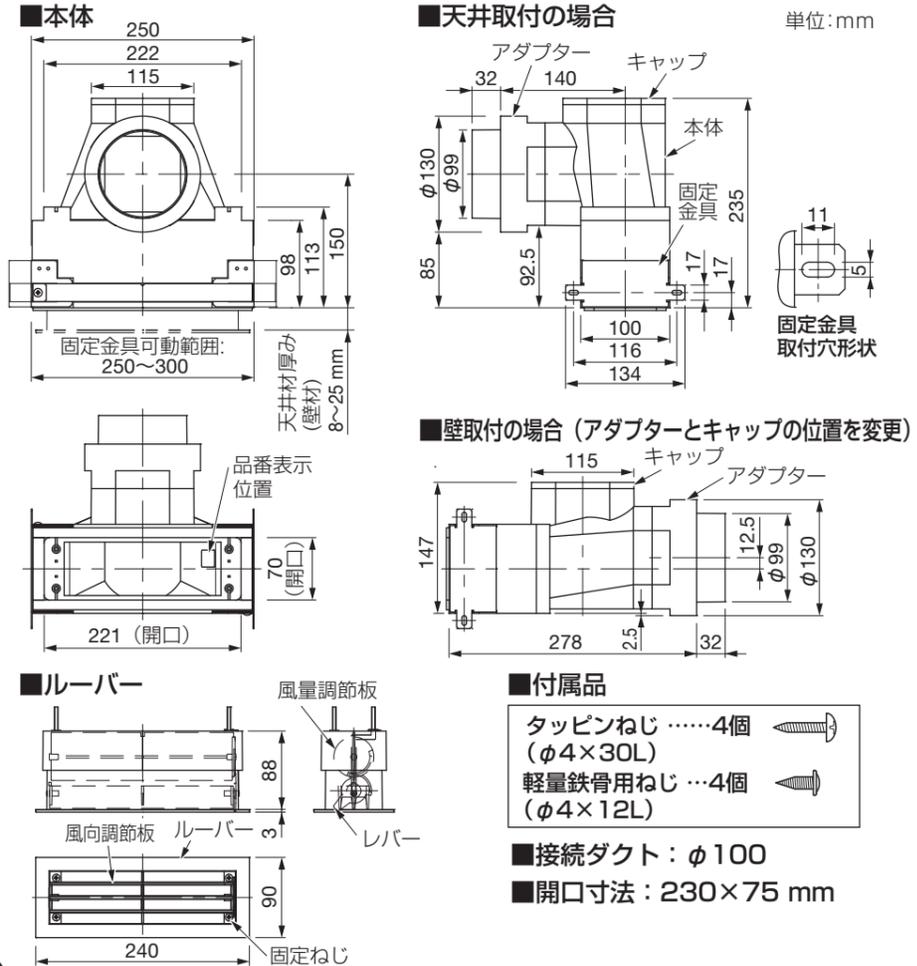
#### お願い

- 高温になる場所(周囲温度40℃以上)に取り付けしないでください。  
ルーバーの変形の原因となります。
- 台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所に取り付けしないでください。  
ルーバーの破損の原因となります。
- 床面には取り付けしないでください。  
プラスチック部品が破損するおそれがあります。また十分な換気性能が得られません。
- 火災報知器の近くに本体を設置しないでください。  
本体と火災報知器の距離は1.5 m以上離してください。設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。



### 各部の名前と寸法

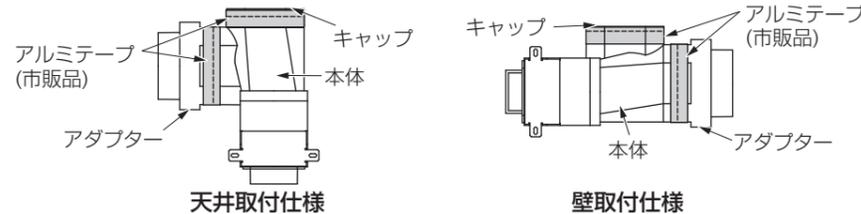
お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。



### 取り付け方法

木材にはタッピンねじ(φ4×30L)を使用してください。  
軽量鉄骨には軽量鉄骨用ねじ(φ4×12L)を使用してください。

- ①アダプターとキャップを本体にアルミテープ(市販品)で固定する。  
■工場出荷時のアダプターとキャップの位置は、天井取付仕様の状態になっています。  
■壁取付仕様で施工する場合には、アダプターとキャップを本体の接続口から取りはずし、入れ替えて本体の接続口に差し込んでください。  
■アダプターとキャップが抜けないように確実に固定してください。



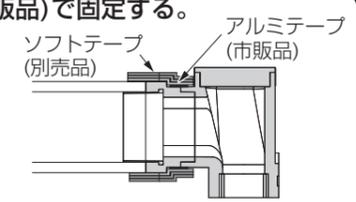
- ②固定金具をスライドさせて、本体を設置する梁などの間隔に合わせる。  
■可動範囲: 250~300 mm  
■梁などの間隔が可動範囲外になる場合には、可動範囲内に位置する枠などを設けてください。
- ③本体を②の梁などの間に設置して、ねじ(付属品4本)で固定する。  
■開口面は設置する梁などの面に合わせてください。  
■天井材または壁材を張るまでは、開口指示パッドをはずさないでください。



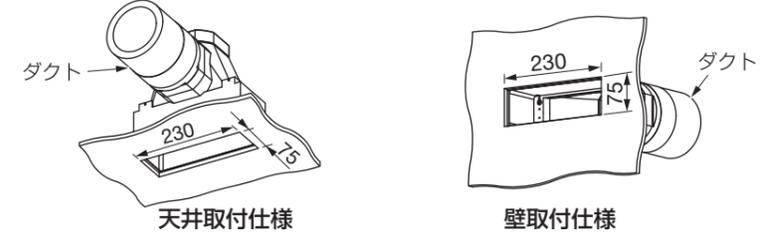
- ④アダプターにダクトを差し込み、アルミテープ(市販品)で固定する。  
■ダクトがはずれないように確実に固定してください。

#### お願い

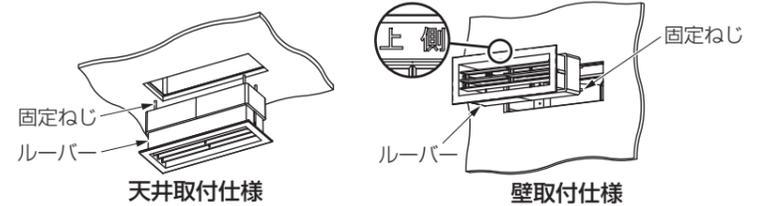
冷房の吹出口に使用される場合は、ダクトの固定部とアダプターの固定部のアルミテープの上からソフトテープFY-RHS01(別売品)を2周巻きつけて断熱処理をしてください。



- ⑤本体の開口に合わせて、ルーバー差し込み用の開口(230×75)を設けた天井材または壁材を張る。  
■開口指示パッドは天井材または壁材の開口の型紙になります。



- ⑥開口にルーバーを差し込み、固定ねじ(4個)を締めて固定する。  
■壁取付仕様の場合はルーバー裏側にある「上側」を上にして差し込んでください。  
■固定ねじを止めている樹脂ワッシャーが緩んでいる場合は奥まで差し込んでください。



- ねじ締めの際は①②③④または③④①②の順に少しずつ締めてください。  
1か所を最後まで締めてしまうとルーバーの破損の原因になります。
- ルーバーは傾きの微調整が可能です。  
無理に傾きを調整すると変形や故障の原因になります。

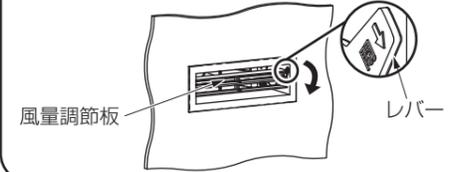


### 風量調節のしかた

レバーを矢印の方向に動かすと奥の風量調節板が回転します。

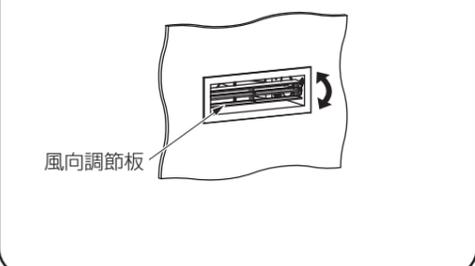
#### お願い

全閉に近い位置で使用しないでください。  
風切り音などが発生する場合があります。



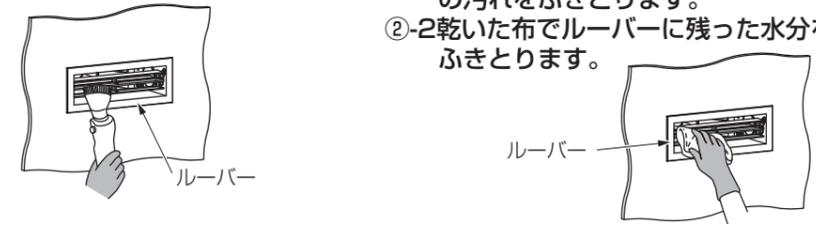
### 風向調節のしかた

風向調節板を動かして調節してください。  
風向調節板可動範囲: 正面に対して±27°



### お手入れのしかた

- ①ホコリを掃除機で吸い取ります。
- ②-1台所用中性洗剤を浸した布でルーバーの汚れをふきとります。
- ②-2乾いた布でルーバーに残った水分をふきとります。



パナソニック株式会社  
パナソニック エコシステムズ株式会社  
〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511